

医療保健学部入学前教育の学習成果について（報告）

1. 概要

(1) 趣旨

本学医療保健学部では、推薦入試・一般入試前期試験利用者を対象に、入学前教育を実施しています。

入学前教育は、入学後から始まる専門基礎科目の学習にスムーズに適応できるよう、高校の学習内容についての復習や未履修科目の学習を主とするプログラムです。入学前教育プログラムの履修前・履修後（入学後）に、外部アセスメント・テスト（学修到達度調査）として、実力試験を実施し、学習成果を客観的に把握・可視化することで、初年次教育等の学習支援活動に活用しています。

(2) 分析手法

外部アセスメント・テストとして、民間事業者で作成される高等学校教育レベルの試験を利用し、履修前後の成績データを比較します。

成績データは、大学企画部 IR 室にて個人ごとのポートフォリオ帳票を作成し、助言教員と学生に配布します。

（対象科目）

日本語、英語、数学、物理、化学、生物

（入学前プログラム）

上記6科目のテキスト、課題（添削あり）の通信制プログラム

（評価対象試験）

履修前 12月

履修後 4月

2. 結果

(1) 2019年度の入学前教育の受験者成績

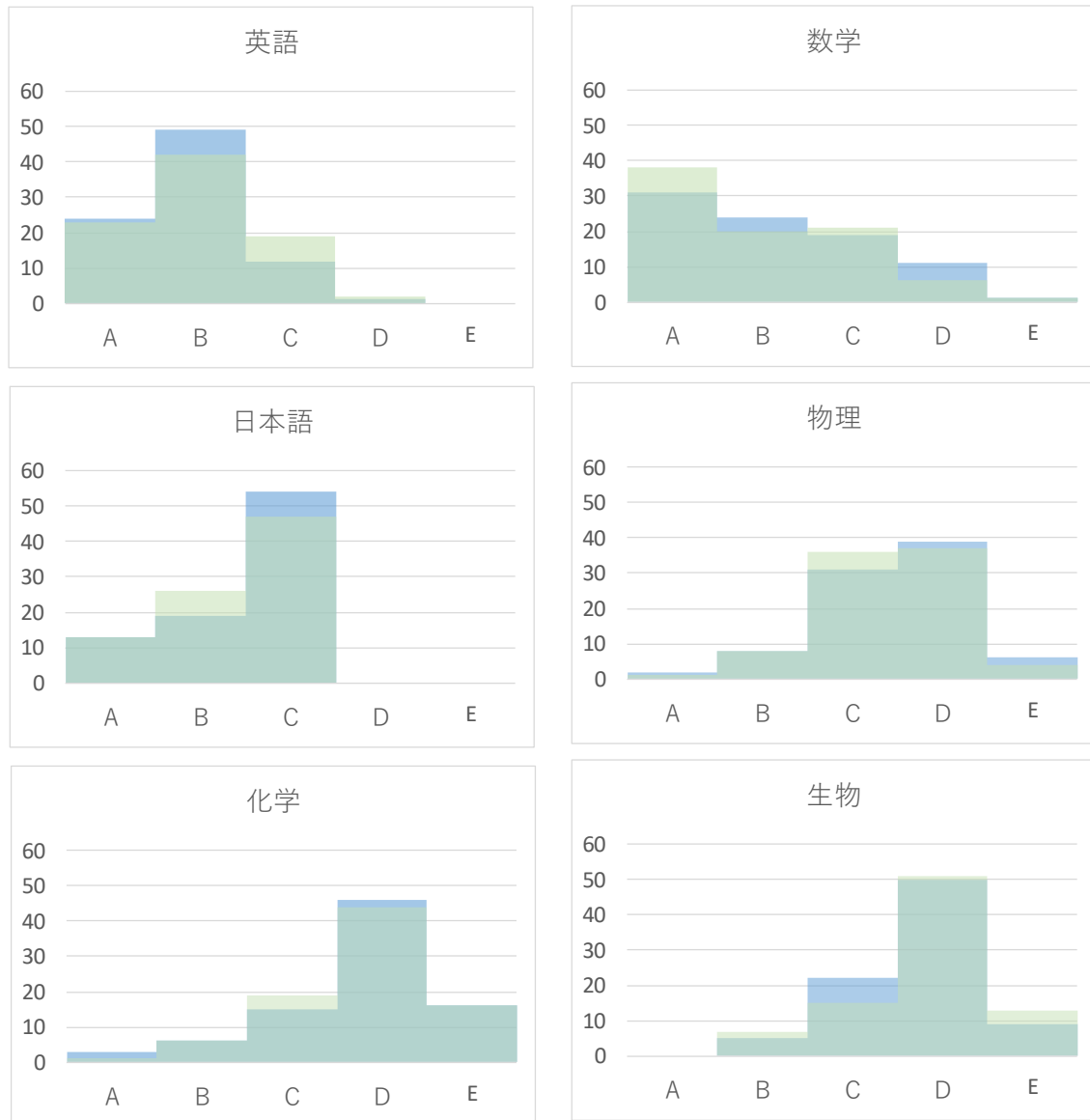
	受験者数	平均スコア		受験者数
英語	14	339.5	1科目	16
数学	20	400.2	2科目	22
日本語	7	521.6	3科目	34
物理	62	35.9	4科目	19
化学	72	40.8	5科目	0
生物	69	39.4	6科目	1

(2) 2018年度との比較

各スコアの偏差値を上位から5グループに分けて、分布を確認した。2018年度・2019年度で大きな差は見られなかった。

いずれの年度も、理科系3科目の未履修科目については、入学前教育だけでは、高校レベルの基礎知識習得に至っていないものが一定数存在することがわかった。今後の学習支援方法等について検討を要する。

青：2018年度 緑：2019年度



3. 追加分析

理科系3科目の未履修科目について、学習支援方法を検討するための基礎資料として、入学後の専門基礎科目（前期試験結果）との相関をみた。

統計学、生理学を除いて大きな相関がみられなかったため、生物、化学、物理については、歯科医学との関連性について、検証を行い、入学前教育における学習分野の改編等について引き続き検討することとする。

※2018年度前期試験の結果

【前期試験成績比較】

入学前スコアと前期試験成績の相関

相関係数	生物 スコア	化学 スコア	物理 スコア
医療倫理学	0.07	0.20	0.21
文章表現	0.15	0.16	0.13
統計学	0.27	0.44	0.33
心理学Ⅰ	0.22	0.32	0.33
情報科学Ⅰ	0.10	0.11	0.01
社会福祉論Ⅰ	(0.05)	0.13	0.03
社会保障論Ⅰ	0.24	0.30	0.28
解剖組織学	0.33	0.33	0.22
口腔解剖学	0.23	0.33	0.33
生理学	0.33	0.48	0.39
口腔生理学	0.22	0.23	0.08
生化学・栄養学	0.24	0.37	0.30
口腔生化学	0.29	0.26	0.27